

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第30号(2018年4月5日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号 福山市立大学教育学部 倉盛研究室
TEL: 084-999-1111(代表) FAX: 084-928-1248(代表)

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第16回総会のご案内
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第47回研修会のご案内
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第45回研修会のご報告
- 5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第46回研修会のご報告
- 6 編集後記

1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会中国・四国支部
支部長・幹事 猪木省三

春たけなわの時候となりました。中国・四国支部の会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

支部長・幹事を務めております、広島県の猪木省三と申します。任期は2017年度までです。

2003年4月に支部が発足して、早いもので15年が過ぎようとしております。この間、日本臨床発達心理士会の会員数は全国で約3500名となり、支部の会員数も250名を上回る規模となりました。これも、皆様からの多大なご支援、ご協力のたまものと感謝いたしております。

今回の会報のご案内しております通り、福山市で、来る5月27日(日)の13時から支部総会、その後の時間に支部研修会を開催いたします。支部総会は年に一度の支部会員の会合ですので、ぜひお出かけくださり、支部の活動についての意見交換、情報交換にご参加いただきたいと思います。昨年度の活動報告・決算報告、本年度の活動計画・予算案が主な議題となります。また、今回は支部役員の変更も行われます。

2015年9月に「公認心理師法」が公布され、本年9月には第1回目の国家試験が実施されます。受験資格の詳細も公表され、すでに現任者講習会を受講された方もあるかと思っております。今後は、国家試験に向けての準備も必要で、試験までの期間も残り少なくなっています。公認心理師についての情報は、随時、日本臨床発達心理士会からお知らせがあるかと思っております。また、支部ホームページにも「心理職の国家資格化(公認心理師)関係」のページ(<http://jacdpcs.org/shikaku.htm>)を設けて、関係の情報を掲載しております。

これからも、支部会員の皆様のご支援、ご協力、ご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第16回総会のご案内【重要】

2018年度中国・四国支部総会を次のように開催いたします。ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 2018年5月27日(日) 13:00～(60分程度)

2. 場 所 福山市ものづくり交流館 セミナールームA
(〒720-0067 広島県福山市西町1丁目1-1)

3. 議 題

2017年度活動報告, 2017年度会計報告, 2018年度活動計画案, 2018年度予算案, 役員の選出, その他

4. アクセス (詳しくは, <http://jacdpcs.org/osirase.htm> をご覧ください。)



3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第47回研修会のご案内

総会の後の時間に, 次のような研修会が開催されます。研修会参加者の取得ポイントは(1)区分1ポイント(3時間)です。

詳しくは, <http://jacdpcs.org/kenshu.htm> をご覧ください。

1. 日 時 2018年5月27日(日) 14:00～17:00

2. 場 所 福山市ものづくり交流館 セミナールームA
(〒720-0067 広島県福山市西町1丁目1-1)

3. 講 師 伊澤幸洋先生(福山市立大学教育学部児童教育学科教授)

4. テーマ 「WISC-IVと日本版KABC-IIを用いたクロスバタリーアプローチの実際」

5. 概 要

子どもの生活や学習を支援する上で, 子どもの認知的特性を理解することは重要となる。現在, 子どもの認知的な特性を明らかにする上で, 多くのアセスメントが臨床・教育現場で用いられているが, どうしても単一のアセスメントに頼りがちとなったり, 複数のアセスメントを実施しても, それらの結果を, 多面的・複層的に解釈することについては, 難しさがある。そ

こで、今回は、特に、WISC-IVと日本版 KABC-IIに着目し、それらのクロスバツテリーアプローチを用いたアセスメントの解釈と実際的な支援例について話題を提供していきたい。

6. 参加費 500円

2017年度以降（2017年4月から）、支部研修会等での資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム（SOLTI）」で行われます。IDカードに貼付または印字されているバーコードを読み取り、参加受付をいたします。

支部研修会の参加にあたっては、以下の点をご確認ください

- (1) 原則として、事前の申し込みは不要です。
- (2) 2014年度から、日本臨床発達心理士会の方針で、支部主催の研修会では1回500円の参加費をいただくことになりました。参加費は、当日会場にてお支払いください。
- (3) 開始後10分以上の遅刻をした場合及び終了10分以上前に退出をした場合は、資格更新ポイントの発行はできません。
- (4) 参加の際には、IDカードをご持参ください。お忘れの場合は資格更新ポイントの発行はできません。なお、参加記録ノートは不要です。
- (5) IDカードにバーコードが貼付または印字されていることを事前にご確認ください。
- (6) 開催年度までの会費を納付済であることを日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで事前にご確認ください。未納付の場合は資格更新ポイントの発行はできません。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第45回研修会のご報告

2017年11月5日（日）、香川県高松市のレグザムホール（多目的大会議室）にて、中国・四国支部第45回研修会が開催されました。「『心の理論』から考えるコミュニケーションの発達と障害」というテーマで、藤野 博先生（東京学芸大学教授）によるご講演を賜りました。

これまで自閉症スペクトラム症（ASD）における社会コミュニケーションの障害を説明する仮説として「心の理論」の概念が検討されておりましたが、本研修では藤野先生の長年の実践と研究に基づき、ASD児における心の理論障害仮説や社会的視点取得理論、そして実際の心の理論研究（定型発達児とASD児、ダウン症児との比較実験に基づいた検証）について、丁寧にお話ししてくださいました。社会的



視点取得理論では、誤信念理解（一次、二次）の成立や複数の人の視点を同時に関連付けられるかが重要で、アニメーション版「心の理論課題（藤野, 2005）」を提示されながら、ASD児が心の理論課題に正答するのは言語力が関係している可能性があるという説明をされました。しかし、ASD児は心の理論課題が正答できても、日常生活に般化が難しいという問題が指摘されています。それに対しては、

「コミック会話」や「ソーシャルシンキング」を取り入れた学習プログラムを紹介してください、臨床現場や保育・教育現場で実践できるワークや活動例を取り上げて、ゆっくりではあるが少しずつ進歩することも話されました。

講義の最後に、「心の理論」はその文化のコミュニケーション、社会的認知のあり方、価値観と関係する可能性があることを示唆され、「神経多様性」の原則と関連付けて、「個性的な脳にあった職業や生き方の選択が大切である」というお話で結ばれました。療育、保育、教育現場で子どもの発達支援

に携わる会員にとって、重要なポイントを教えていただきました。

参加者数は73名（会員が57名、一般参加者が16名）、士会各支部主催の研修としての資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

5 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第46回研修会のご報告

発達障害児・者の支援に際し、アセスメントは極めて重要です。そして、これからの臨床発達心理の領域においては、アセスメントツールの実施・分析に終わるのではなく、複数のアセスメントを包括的に解釈したうえで、家族（場合によっては本人も）や支援者等とどのようにそれらの結果を共有し、さらに、そこからどのような支援につなげるか、見通しを持つことが求められます。

本研修では、講師の豊富な臨床経験をもとに、冒頭、「アセスメント」とは何かを問い、「情報収集」という概念におきかえられたうえで、子どもを理解するための方法とプロセスについて概要が示されました。テストバッテリーを通じたアセスメント、行動観察、保護者からのインタビューといった多様な機会を通して、子どもを理解していくうえでの具体的な方法と、そのプロセスの中で、家族や本人、身近な支援者とどのように共同的な関係性を生み出すか等についてのお話がありました。特に、子どもを正しく理解するための包括的なアセスメントの方法と ADOS-2 の概要が説明され、臨床現場の最新情報に触れることができました。



参加者は、途中、ワークを通して、自閉スペクトラム症のある子どもたちの行動特徴について、それぞれの経験を共有しながら議論を行い、そこで共有された行動特徴が、自閉スペクトラム症のある子どもたちの

本質的な行動特徴であるのか、あるいは2次的な障害であるのかといったことについて考察しました。

全体を通して、子どもに対する行動観察の重要性と、複数のアセスメントの包括的解釈を踏まえた具体的な支援のあり方について理解を深めることができ、満足度の高い研修会となりました。

参加者は士会会員16名、士会各支部主催の研修としての資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

6 編集後記

新年度も始まり、会員の皆様には、多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。本年度も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

支部からのお知らせは、日本臨床発達心理士会の会員情報管理システム（SOLTI）（<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/JOCDP>）を使って、メールでお送りしております。まだメールアドレスを登録されていない方は、登録をお願いいたします。また、お送りしたメールのかなりの数が宛先不明で戻ってきております。メールアドレスを変更された場合は、登録変更をお願いいたします。会員情報の登録及び変更は、日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで行ってください。

会員にかかわりのあるトピックスや最新の情報、研修会などのご案内、支部会報のバックナンバー

などは中国・四国支部ホームページ (<http://jacdpcs.org/>) に掲載しております。特に、公認心理師についての情報は、「心理職の国家資格化（公認心理師）関係」のページ

(<http://jacdpcs.org/shikaku.htm>) に掲載し、随時更新しておりますので、ご覧ください。

中国・四国支部の各地区で研修会・事例検討会等を開催される場合、中国・四国支部から補助金を支出いたします。詳しくは「支部からのお知らせ」のページ (<http://jacdpcs.org/osirase.htm>) をご覧ください。また、支部研修会で取り上げる内容や実施の方法等についてご提案がありましたらお知らせください。担当役員において検討いたします。その他、支部への問い合わせ、情報提供等も、以下の中国・四国支部連絡先までお寄せください。

中国・四国支部連絡先：info●jacdpcs.org ※ご利用の際は、●を@に変えてください。

(編集委員会)